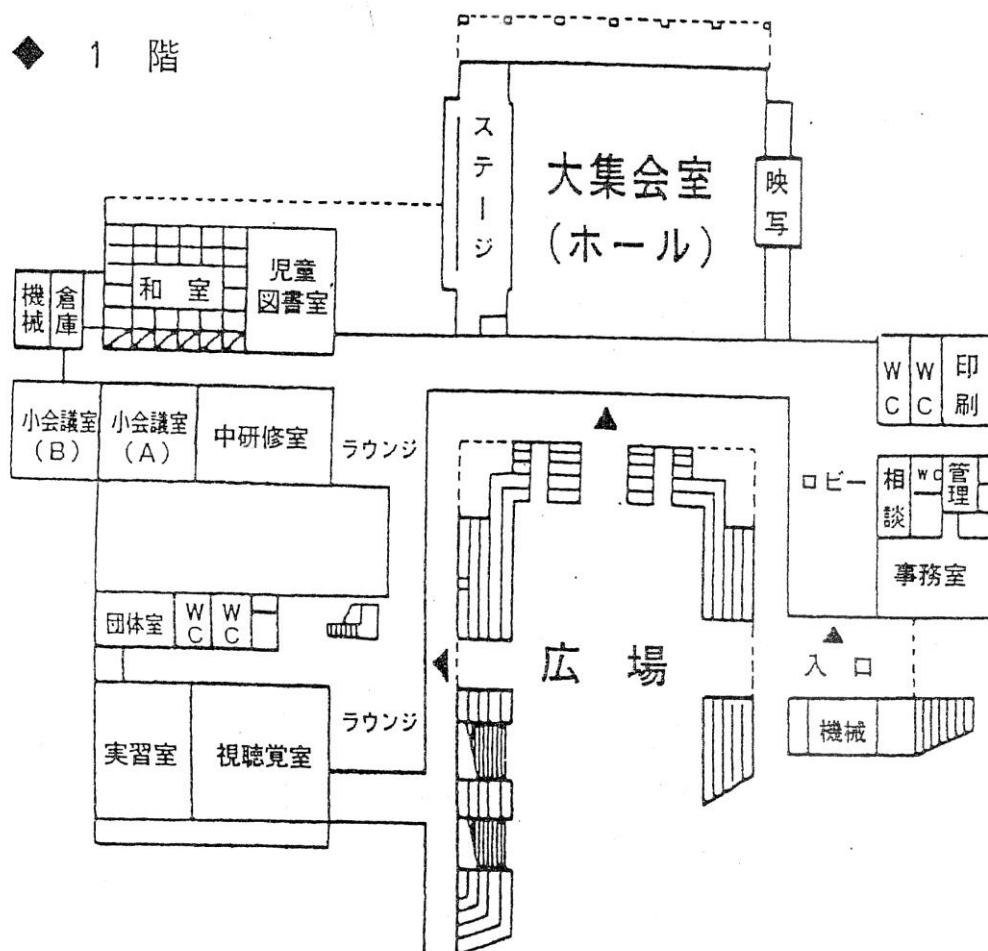


小 祿 南 公 民 館



利用施設のご案内

◆ 1 階



部 屋 名	収 容 人 数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	300 人程度	講演会・演劇・映写会等ステージを使った発表会等 (テーブル・イス・白板・ピアノ)
視 聴 覚 室	30~40 人程度	学習会・映写会等 (テーブル・イス・白板・ステレオ・スクリーン・OHP 等)
中 研 修 室	20~36 人程度	集会・学習会等 (テーブル・イス・白板)
児童図書室	12 人程度	集会・学習会・読書活動等 (テーブル・イス・白板)
小会議室 A	12 人程度	集会・学習会等 (テーブル・イス・白板)
小会議室 B	12 人程度	集会・学習会等 (テーブル・イス・白板)
実 習 室	24 人程度	料理実習・その他の実習や会議等 (料理用器具・調理台・イス)
和 室	35 人程度	茶道・着付け・その他の学習等 (低テーブル・茶道器具・10 畳×3 間)
団体連絡室	11 人程度	集会・学習会等 (テーブル・イス)
ロ ビ ー ラウンジ		市民のいこいの場・待ち合わせ・談話コーナー等 (テーブル・イス)

I 小禄南公民館の沿革

建設の設計については、一般公募（競技設計）方式を採用し、昭和56年9月24日建設に着工、昭和57年3月31日に竣工した。

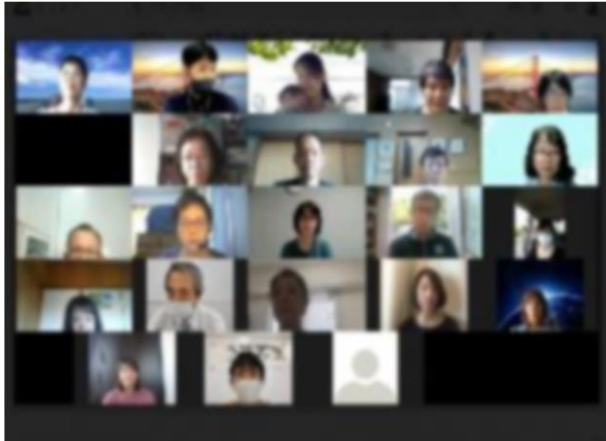
同施設は、旧小禄支所跡の丘陵地帯で小禄地区の南に位置し、その規模、設備等は当時最も進んだ近代的な公民館として、昭和57年5月14日開館した。

1982（昭和57）年4月1日	小禄南公民館の発足に伴い、主査 兼城賢真が発令された。
5月13日	小禄南公民館の開館式が行われた。
1986（昭和61）年4月1日	主事が公民館主事に職名変更された。
1989（平成元）年4月1日	主査 兼城賢真が配置替えにより、主査 伊元源治が発令された。
1990（平成2）年4月1日	主査が館長に職名変更された。
12月7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰された。
1991（平成3）年4月1日	館長 伊元源治が配置替えにより、館長 前原信喜が発令された。
1992（平成4）年2月14日	第39回沖縄県生涯学習振興大会において優良公民館として表彰された。
1993（平成5）年2月28日	開館10周年記念式典及び祝賀会・記念誌が発刊された。
1994（平成6）年11月1日	第47回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
1995（平成7）年10月1日	館長 前原信喜が配置替えにより、館長 中村英雄が発令された。
1996（平成8）年4月1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増
1998（平成10）年4月1日	館長 中村英雄が配置替えにより、館長 新里重雄が発令された。
2001（平成13）年4月1日	館長 新里重雄が配置替えにより、館長 阿波連寛が発令された。
2004（平成16）年4月1日	館長 阿波連寛退職により、館長 新里重雄が発令された。
2005（平成17）年4月1日	館長 新里重雄退職により、館長 新垣絹代が発令された。
	社会教育指導員1減
2007（平成19）年2月15日	那覇市小禄南公民館は沖縄県豊見城警察署長より感謝状を表彰された。
2007（平成19）年6月20日	うるく地域づくり連絡協議会（事務局小禄南公民館）創立十周年記念誌が発行された。
2007（平成19）年11月22日	第37回沖縄県公民館研究大会において館長新垣絹代が功労者表彰を受ける。
2008（平成20）年4月1日	館長 新垣絹代が配置替えにより、館長 比嘉勉が発令された。
2009（平成21）年4月1日	館長 比嘉勉が配置替えにより、館長 上原善英が発令された。
2012（平成24）年3月	「小禄の拝所」が発行された。
2012（平成24）年4月1日	館長 上原善英が配置替えにより、館長 島袋元治が発令された。
2014（平成26）年4月1日	館長 島袋元治が配置替えにより、館長 比嘉康裕が発令された。
2016（平成28）年4月1日	館長 比嘉康裕が配置替えにより、館長 上原昭則が発令された。
2017（平成29）年3月1日	第69回優良公民館として文部科学大臣表彰を受ける。
2018（平成30）年4月1日	館長 上原昭則が配置替えにより、館長 天久尊哉が発令された。
2019（平成31）年4月1日	館長 天久尊哉が配置替えにより、館長 上江田久美子が発令された。
2021（令和3）年4月1日	館長 上江田久美子が配置替えにより、館長 高良篤伸が発令された。

Ⅱ 令和2年度小緑南公民館事業目次

1	学習風景（写真）	29
2	成人一般対象事業	
	〔1〕 市民講座	
	◇離れていても繋がる！Z o o mでレッツオンラインコミュニケーション！	30
	◇HAPPY HALLOWEEN 今年のハロウィンは在宅料理を楽しもう！	31
	◇公民館からレシピをプレゼント！ MERRY CHRISTMAS	32
3	青少年対象事業	
	〔1〕 青年講座	
	◇オンライン哲学対話～自粛警察を考える～	33
	〔2〕 親子ふれあい教室	
	◇ZOOM講座 やーぐまい自然観察～身近な公園の自然を探そう～	34
4	家庭教育事業	
	〔1〕 家庭教育学級	
	◇ZOOM講座 子ども達のSNS利用について学びあおう	
	～親のまなびあいプログラム～	35
5	公民館まつり	36
6	新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止になった事業	37

1 学習風景



市民講座

「離れていても繋がる！Zoomで
レッツオンラインコミュニケーション！」



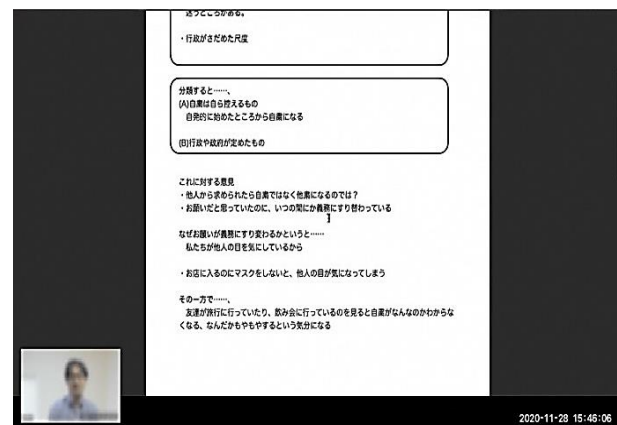
市民講座

「HAPPY HALLOWEEN
今年のハロウィンは在宅料理を楽しもう！」



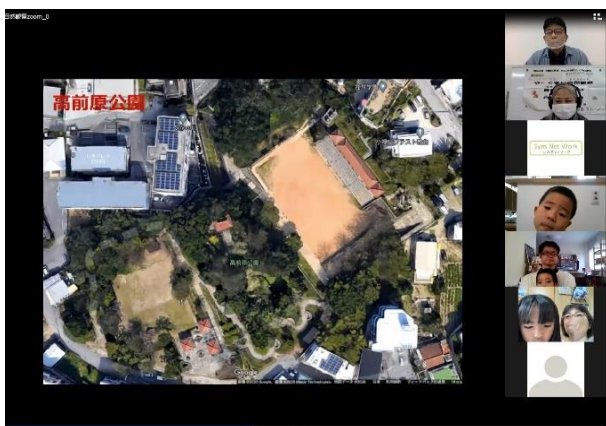
市民講座

「公民館からレシピをプレゼント！
MERRY CHRISTMAS」



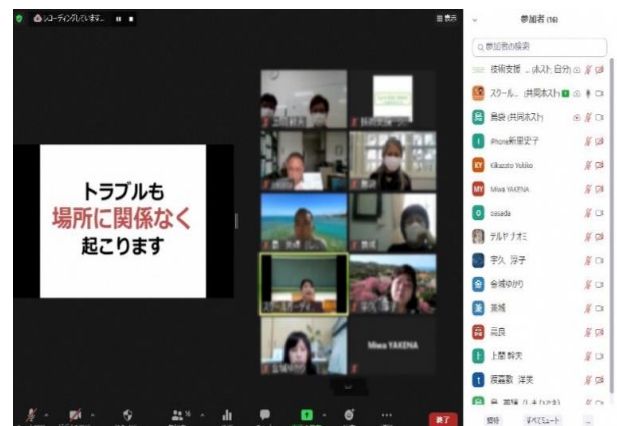
青年講座

「オンライン哲学対話
～自粛警察を考える～」



親子ふれあい教室

「ZOOM 講座 やーぐまい自然観察
～身近な公園の自然を探そう～」



家庭教育学級

「ZOOM 講座 子ども達の SNS 利用について
学びあおう ～親のまなびあいプログラム～」

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

離れていても繋がる！Zoomでレッツオンラインコミュニケーション！

趣 旨：新型コロナウイルスの影響により、オンライン化が進む中で Zoom が話題になったが、本講座は Zoom を導入しようと考えている方へ向けて、その使い方、またオンライン上でのマナーを体感していただくことで、これからの情報社会に対応できる能力および、よりよいコミュニティの形成に資するものである。

期 日：令和2年11月7日（土）（全1回）

時 間：14：00 ～ 16：00

場 所：オンライン講座のため、各自宅にて受講

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受 講 料：無料 定員：25人

申込人数：28人（うち受講決定人数：23人）

講 師：房前 三男（那覇市シルバー人材センター）

技術支援：宮里 弥杉（シムネットワーク代表）



★★ 学習プログラム ★★

- ・Zoom の基本的な使い方（マイク・カメラのオンオフ、表記名の変更、リアクション、バーチャル背景）
- ・オンライン上でのコミュニケーションのコツ
- ・プチ討論会「友達に紹介したい那覇市の魅力的なスポット」

【参加者の声】

- ・ズームのマナーや、伝え方のコツ、同じ空間にいないからこそ配慮が必要だと学びました。早速、前から気になっていた有料講座を予約しました。受講したことを復習して、ズームを使いこなします。自信をもって参加できそうです(^-^)
- ・発言の時間があつたことで、「参加している」という実感がもてました。画面操作も少し覚え、一歩進んだ感があります。
- ・オンライン講座の意味を理解しておらず、公民館まで出向いてしまった。もっと、自宅等で受講できるということを明記してほしかった。
- ・グループ分けをしたとき、進行役を決めてミーティングに入ってくださいと言って貰わないとこれからどうすればいいのか、わからないまま時間が過ぎていきました。

【まとめ】

- ・小禄南公民館の Zoom を使ったオンライン講座として、初めての取り組みでしたが、皆さまが活発に活動されている様子が印象的で、オンライン講座の可能性を感じました。
- ・講座当日にも受付がきており、またキャンセル待ちも何件かあったため、オンライン化に伴うニーズに応えることはできたのかなと思います。
- ・講座の内容についての事前告知やオンライン講座に関する周知が足りなかったのではないかと実感しています。当日、受講生の中には、上手く会話をすることができなかったという方も見受けられました。対面であれば、運営が察知して動くことができますが、今後はそういった点についてもより一層目配りをしていくという手立てが必要であると感じました。
- ・実際に公民館で Zoom の使い方を学ぶことができると認識をされていた方が多かったという印象を受けました。自宅受講できるというオンラインの強みを、広報の時点から出していくべきだと感じました。

「HAPPY HALLOWEEN 今年のハロウィンは在宅料理を楽しもう！」

趣 旨：自粛生活により外出ができない中、料理によって季節感を味わいながら自炊に対する関心を深めていく。

配信期間：令和2年10月16日（金）14時から10月22日（木）まで申込者のみ公開。

10月23日（金）から一般公開とする。（YouTubeにて動画配信）

撮影場所：小祿南公民館 実習室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の小学生以上の方

受 講 料：無料

定 員：なし

申込人数：15人（うち受講決定人数15人）

視聴回数：250回（令和3年3月31日時点）

講 師：石川 薫（食育アドバイザー）

技術支援：宮里 弥杉（シムネットワーク代表）



★★ 学習プログラム ★★

メニュー：カボチャトマトシチュー、ハロウィンサラダ、カボチャモンブラン

動画内容（17分17秒）	
0：00～ 1：42	オープニング
1：42～ 5：42	カボチャトマトシチュー
5：42～11：15	ハロウィンサラダ
11：15～16：54	カボチャモンブラン
16：54～17：17	エンディング

【参加者の声】

- ・集中出来る時間内で良かった。説明で講師の声が入るとより良かった。
- ・親子で挑戦しました。道具が足りず、動画どおりには出来なかったところもありましたが、一緒に考えながら楽しく料理できました。動画もとてもわかりやすく、良かったです。家族そろって、美味しく楽しい夕食を過ごせました。また、季節のイベント料理を紹介してほしいです。
- ・子どもが幼く、外出や目を離すことが難しいため、家で講座を受講者でき、何度も見返せるのが良い
- ・自宅にて身近な材料を使い、わかりやすい作り方、是非作ってみたいと思います！
- ・自宅で自分の時間にあわせて視聴できてよかった。お料理も簡単にできてわかりやすかった。
- ・料理のポイントが言葉だけではなく、文字での説明があったのでより分かりやすかったです。早速作ってみようと思いました。ありがとうございました。

【まとめ】

対面の料理講座が開催できなかったことから動画配信講座を企画しましたが、外出が難しい人でも自宅で受講でき、自分の好きなタイミングで視聴できるなど好評をいただきました。

調理中の音声为正しく収録できていなかった為、字幕を採用しましたが逆に説明が分かりやすくよかったという評価もありました。

一方で講師や公民館職員も動画収録が初めてだったので、受講者が調理時のどの部分を見たいのかを考えるのに苦労しました。調理方法について一番受講者に学んでもらいたかったのですが、全体よりも講師の手元を中心に撮影するよう心がけました。

「公民館からレシピをプレゼント！ MERRY CHRISTMAS」

趣 旨：自粛生活により外出ができない中、料理によって季節感を味わいながら自炊に対する関心を深めていく。

配信期間：令和2年12月11日（金）14時から12月17日（木）まで申込者のみ公開。

12月18日（金）から一般公開とする。（YouTubeにて動画配信）

撮影場所：小祿南公民館 実習室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の小学生以上の方

受講料：無料 定員：なし

申込人数：15人（うち受講決定人数15人）

視聴回数：151回（令和3年3月31日時点）

講 師：石川 薫（食育アドバイザー）

技術支援：宮里 弥杉（シムネットワーク代表）



★★ 学習プログラム ★★

メニュー：クリスマスキッシュ、セルクルサラダ、ブッシュドノエル

動画内容（19分39秒）		
0：00～	1：30	オープニング
1：30～	5：43	クリスマスキッシュ
5：43～	9：54	セルクルサラダ
9：54～	19：10	ブッシュドノエル
19：10～	19：39	エンディング

【参加者の声】

- ・自宅時間に料理をするのはいいと思います。先生が助手の方を優しく見守り、コツや手直しをする様子は既存の料理番組にはないものと思います。公民館の親子料理教室やサークル活動は和気あいあいとしている雰囲気が伝わります。先生の声が聞こえづらい、調理台の映し方に工夫があれば満足です。
- ・料理中の手元がアップされている字幕があると、もっと良かったです。レシピ、簡単ながら可愛らしいです。クリスマスの日に親子で料理する予定で、楽しみです。
- ・クリスマス時期に合わせた料理に興味があったので、タイミングがよかった
- ・声が小さくてほとんど聞き取れなかった
- ・字幕がテーブルクロスの上の生地と重なり読めなかった
- ・スマホの操作がおぼつかなく、レシピを見ながら講義の拝聴が難しいです。
- ・ブッシュドノエルを作ってみました！結構難しそうに思いましたが、やってみると簡単でした。スポンジケーキもフライパンで2～3分で本当に焼けるのかなと思いましたが、綺麗に美味しく出来ました！子供も楽しんで作れたので良かったです！ありがとうございました（^v^）

【まとめ】

前回の料理講座では音声を入れない字幕のみで、講師の手元を中心に撮影してきましたが、今回の講座では対面の料理講座と同じ雰囲気を味わうことができるように、料理する全体の様子を映るようにして、講師の声も入れて字幕を極力少なくするようにしてみました。その結果、「先生の声が聞こえづらかった。」「作業中の手元が見づらかった」などの意見が多くありました。

全体の様子を映しながら、重要なポイントでは手元を撮影するようにしたり、講師の声が聞き取りづらい場合は要点のみ字幕で解説を加えるようにするなど、まだまだ改善する余地がありました。受講者が講座の中で一番何を知りたいのかを考えた上で、講座を作っていくのは、これまでの対面講座と同じだと感じました。

3 青少年対象事業

〔1〕青年講座

オンライン哲学対話～自粛警察を考える～

趣 旨：コロナ禍において「自粛」というワードが浸透しつつある中、自粛していない人を過剰に攻撃する「自粛警察」が社会問題になった。本講座は、「自粛警察は正義で、自粛しない人は悪か？」ということや、これからの社会をどう生きていくか、受講者同士で自由に話し合うことで、複雑な現代を生きる青年層の「これからの生き方」を改めて考える機会とする。

期 日：令和2年11月28日（土） 時間：14：00～16：00

場 所：オンライン講座のため、各自自宅にて受講

対 象：那覇市在住・在勤・在学の18歳以上の方でZoomを使ったオンライン講座に参加できる方

受 講 料：無料 定員：先着20人 申込人数：12人（うち受講決定人数：8人）

講 師：竹内 聖一（立正大学 文学部 哲学科准教授）

技術支援：宮里 弥杉（シムネットワーク代表）

★★ 学習プログラム ★★

- ・イントロダクション
- ・論題①「なぜ自粛警察という現象が生じるのか」
- ・論題②「自粛をうまく進めるには何が必要か」
- ・まとめ



【参加者の声】

- ・新たな視点から物事を考え、自分に不足しているのは何かということを考えることができた。
- ・コロナ禍での情報共有化と広域性が満たせた。
- ・聴くだけ参加のつもりが、講師のほんわかした雰囲気話の輪に参加することができた。
- ・あまり発言できなかった。
- ・深掘する視点も重要。生活構造のみが話の中心になり、自己の環境という軸足から抜き出していない側面もあるのではないかな。
- ・哲学だからこそ、自由な意見交換の場だったが、逆に自由なことで何をどう話せばいいのか、どのタイミングで発するか躊躇した。

【まとめ】

- ・定員の20名に対して、当日の受講者数は8名と少なく、テーマ設定、開催時期、広報手段など、今一度見直す機会が必要だと痛感しました。
- ・青年層をターゲットにした講座でしたが、高等学校や専門学校、大学など、比較的青年層が集まる関連教育機関への広報が遅れたため、次回以降は早めの広報を心がけます。
- ・県外の講師を招いての開講でしたが、大きなトラブルもなく運営ができたことは良かったと思います。
- ・一部の受講者に発言が偏り、他の受講生がなかなか発言できない状況があったので、小テーマを盛り込むなどして、積極的な講座への参加を促すという手立ても必要だと感じました。
- ・今回は比較的ライトな入門講座として開設したため、身近な生活構造における点に話題が集約したように思いますが、物足りなく感じる方がいるということも見受けられるため、学びの公共性を担保しつつ、もう少し突き詰めた内容について講座を開設していくことも検討していきたいと思っています。

〔2〕 親子ふれあい教室

ZOOM講座 やーぐまい自然観察～身近な公園の自然を探そう～

趣 旨：新型コロナウイルスの影響で休校や外出が制限される中、オンライン(ZOOM)を利用して身近な公園の樹木で自然観察の仕方や楽しみ方、気づいたことを親子で話し合い、より良い親子関係をつくる。

期 日：令和2年12月19日(土)

時 間：13:30～14:30(13:00～ZOOM入室)

場 所：自宅等WI-FI環境のあるところ 配信：まーいまーいNAHA

対 象：那覇市在住・在勤・在学の小学生の親子・保護者 受講料：無料

定 員：15組

申込人数5組(うち受講決定人数5組) 参加人数：5組(11人)

講 師：稲垣 暁(家庭教育地域連携講師) 技術支援：宮里 弥杉(シムネットワーク代表)

★★ 学習プログラム ★★

- ・開講式(5分)
- ・高前原公園の自然を探そう(50分)
 - 高前原公園にある木の場所やみどりの役割
 - 公園にある代表的な樹木について、ワークシートに沿って説明をしながら参加者とやり取りを行う
- ・閉校式(5分)



【参加者の声】

- ・こんど、こうえんにいったとき、きょうした木をさがしてみたいとおもった。
- ・在来種と思っていたふくぎが外来種と初めて知った。公園に行った時は子ども達と一緒にどのような植物があるのかよく調べてみようと思いました。公園などの身近な危険植物や生物についても教えてほしい。
- ・身近な植物について知る事ができてよかった。勉強した事をツアーという形にしてその後に繋げたい。
- ・大人は最後まで聞く事が出来たが、子どもにも興味を持てるよう〇×クイズなどの工夫が必要。
- ・沖縄に生まれ育って歴史を知らなかった。先人から代々伝えでもらったことを母親が意識する事で子どもに伝える事が出来ると思う。
- ・両親が共稼ぎで祭りや行事に参加することがなく、家族で出かけるにもお金がかかるので、学校の遠足が楽しみでした。今の子ども達も同じ状況になるのかなと思います。また参加したいです。

【まとめ】

- ・体験型の講座を ZOOM で行えるのか講師もスタッフも挑戦であった。公園にある代表的な樹木を設定し事前学習や親子で話し合いながら参加できるようにワークシートを作成した。
- ・問いかけなど双方向での対話が出来なかったのは残念であったが、コロナ禍の子どもの状況についての感想が出るなど親子で過ごす大切さを感じた。引き続き、体験型の講座をオンラインで行えるように工夫していきたい。また、安全を考慮しつつ、親子で身近な公園で自分なりの楽しみ方ができるように少人数でも対面講座でツアー・観察会を検討して行きたい。

4 家庭教育事業

〔1〕 家庭教育学級

ZOOM講座 子ども達のSNS利用について学びあう～親のまなびあいプログラム～

趣 旨：SNS を利用する際の家庭のルールや SNS 上で起こっている子ども達の様子や不安について子育て中の保護者や地域の方が「親のまなびあいプログラム」を通して学びあい子育てについて考える。

期 日：令和3年2月27日（土） 時間：10：30～12：30

場 所：自宅等 WI-FI 環境のあるところ（配信：まーいまーい NAHA）

対 象：那覇市在住・在勤・在学中の小・中学生の保護者や子育てに関心のある方 受講料：無料

定 員：15人 申込人数：14人（うち受講決定人数14人） 参加者人数：12人

講 師：金城 明子（沖縄県家庭教育支援アドバイザー 全国 web カウンセリング協議会認定いじめ対応アドバイザー・児童心理カウンセラー）

技術支援：宮里 弥杉（シムネットワーク代表）

★★ 学習プログラム ★★

内 容	所要時間
開講式	5分
講話「知っておきたい SNS の危険性、心構え、対策」	30分
テーマについてグループで話し合い発表する ①「子どもに守ってほしいルールと自分に課したいルール」 ②「ルールを守らなかったときはどうしますか？」	50分 (グループ入替 25分×2回)
閉校式	5分



【参加者の声】

- ・金城先生のお話や進行が良かった。SNS 利用の仕方・家庭のルール作りは子どもと根気よく話しあい「諦めない」というお話が印象に残った
- ・SNS の危険性、親子でルールを作る事の重要性を学びました。
- ・講座終了後、早速、子ども達と SNS の利用について話し合った。
- ・ワークでいろいろな意見を聞いての話し合いが楽しく私も子どもとルール作りが出来そうと感じた。
- ・70代の参加者より「子育てに正解はない、難しいけどゆったりとした気持ちで大切では」最後に深い言葉を得られ「まなびあいプログラム」に幅広い年齢の方の参加が良かった。（講師）

【まとめ】

- ・昨年度講座参加者を中心に講座企画を行った。各メンバーの活動を通してコロナ禍で休業中の子ども様子など情報交換出来たことが良かった。講座実施の際は関係者と密に調整し、今後に活かしたい。
- ・講座終了後、参加者より民生委員児童委員の研修で SNS の利用について行いたいとの連絡があった。
- ・参加者同士が話し合う「親のまなびあいプログラム」を県内初の ZOOM での試みに手応えを感じた。後日他地域のリーダーより ZOOM 研修会立上げの連絡を受けた。

5 動画撮影

動画撮影風景



那覇太鼓会長 与那覇さんへインタビュー



那覇太鼓



那覇太鼓のメンバーへインタビュー



那覇太鼓のメンバーへインタビュー



那覇太鼓のメンバーへインタビュー



那覇太鼓の演舞

例年2月に開催される「小緑南公民館まつり」ですが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により、中止となりました。

毎年、オープニングイベントとしてまつりを盛り上げてくれる“那覇太鼓”さんの演舞と会長の与那覇さんを始め、メンバーへのインタビューを行うなどの動画を撮影しました。

★小緑南公民館アカウントにて YouTube 配信をしていますので、ぜひご覧ください。

6 新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み中止になった事業

事業名及び講座名	開催予定月	定員（人）	時間×回数
家庭教育学級 「地域で子どもを育てる～親の まなびあいプログラム～」	R2年8月	15	2時間×1回
成人講座 「小祿地域の拝所を歩く～礼 節・歴史・継承～」	R2年9月	10	2時間×3回
小祿南公民館まつり	R3年2月	約1,870名	2日
うるく地域づくり連絡協議会 「うるく地域学習会」	R2年5月	50名程度	2時間×1回
うるく地域づくり連絡協議会 「親睦グラウンドゴルフ大会」	R2年6月	50名程度	2時間×2回
うるく地域づくり連絡協議会 「小祿地区市民大運動会」	R2年11月	約3,000名	1日
うるく地域づくり連絡協議会 「うるく村あしび」	R3年2月	約300名	3時間×1回

【小祿南公民館・館長より】

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、臨時休館や施設の利用制限だけでなく、予定していた公民館講座や、うるく地域づくり連絡協議会の各行事も中止となりました。公民館講座は、自宅にいても参加できるオンラインでの開催に挑戦しました。職員も初めてのことで模索しながらの開催でしたが、開催方法は変わっても学ぶ機会・交流する機会は提供できるということを実感しました。

とはいえ、やはり地域の皆さんが直接顔をあわせて交流することや、受講者同士が対面で学ぶことで得られる体験も大切ですので、早く感染状況が落ち着き、また公民館が気軽に安心して交流できる場となることを願っています。

